

ごみ分別によるメリットを明確に示せ

全国平均半額の処理コストで雇用の創出に寄与している



中倉 広文 議員

本町は住民の理解と協力のもと、本年までに9年連続でリサイクル率日本一の榮譽を頂いている。このリサイクルへの取り組みについて、県内市町村の状況や、全国の平均値はどのようになっているのか。

自治体名	リサイクル率	全国順位
大崎町	81.9%	1位
志布志市	76.1%	2位
垂水市	52.6%	3位

平成27年度リサイクル率

際立った取り組みと なっている

町長

鹿児島県全体のリサイクル率は14・9%で、全国平均の20・6%より低いことから、本町のリサイクルへの取組が際立っている。

一人当たりのごみ処 理費用はいくらか

中倉広文議員

廃棄物処理に係るコストが重要であるが、本町の住民一人当たりの廃棄物処理費用は、他の自治体と比較するとどのような状況か。

全国平均の半額である

町長

焼却炉に頼らないごみ処理を行っていることもあり、全国平均の約半分の経費で廃棄物処理を行っていると言える。

埋め立て処分場の使 用残余年数は何年か

中倉広文議員

本町の分別収集は、もともと埋め立て処分場の延命化ということで始まっている。この処分場が今後どれくらいの期間使用可能なのか、その残余年数について示せ。

残余年数は40年から 50年とされている

町長

当初計画では平成16年度には埋め立て終了であったが、現在、住民の方々の理解と協力のもと、推定される残余年数は40年から50年と捉えている。

資源物の評価はどうか

中倉広文議員

住民には分別した資源物がどのように再資源化されているのかあまり理解されていないと考える。分別した資源物のその後のプロセスと、本町の資源物を他自治体と比較した場合、評価と売買価格についてはどうか。

評価は良く入札価格も高い

町長

本町の資源物はきれいに分別していただいていることから評価も高く入札でも高い単価で売却できている。

品目	売却益	売却先	再生資源物
アルミ缶	2,354,582円	福岡アルミ	アルミ缶
新聞紙・チラシ等	1,749,314円	王子製紙グループ	新聞紙・紙箱等 紙段ボール

主な資源物の売却益など

住民のメリットは何か

中倉広文議員

住民自身は、このリサイクルに対する便益について実感していないと考える。住民のひと手間はどのような形で還元されているのか、そのことを明確に示せば、さらにやりがいを持つて分別収集に取り組めると思うがどうか。

処理費用の削減や新たな雇用を創出している

町長

住民の便益についての1点目は、埋立処分場が延命化できたことであり、2点目はコスト面がある。本町の一人当たりのごみ処理経費は、全国平均と比較すると差が7、700円あり、年間約1億円の財源が浮く計算となる。更に資源物の売却益金を各衛生自治会に還元している。3点目は雇用の創出で、短期雇用も含め約40名の雇用を生んでいる。また、地域イメージの向上、PR効果

もあり、9年連続リサイクル率日本一の達成による知名度の向上や、ふるさと納税において、環境に優しいまちとしての寄附もいただいている。

リサイクル活動をどのように波及していくか

中倉広文議員

リサイクルに対する住民へのメリットが明確にされると、本町の施策にもさまざまな形で活用できると考える。今後どのような分野に波及していくのか。

青少年交流や企業等に波及できるように努める

町長

今後の展開は、リサイクルを通して青少年の国際交流、農業分野での交流に取組ながら、各種企業のビジネスチャンスにも広がるように行政間の信頼関係を深めていきたいと考えている。

その他の質問
・行政主導で農地集積を図れ